

# かわきた



新調された消防団のまとい



自衛消防隊合同訓練大会

川北町議会事務局

検索



- 6月議会定例会 .....P2
- 委員会審議Q&A.....P4
- 町政を問う（いっぱん質問）…P5

# 平成30年第3回 6月議会定例会 8日～14日

平成30年第3回(6月)議会定例会では、専決処分の報告が2件、関連して、繰越明許計算書の報告が1件、公社の経営状況の報告が2件、補正予算が1件、条例・規約の改正、廃止が4件、選挙の案件が2件の合わせて12件が上程されました。

議案は、各常任委員会で審査され、すべて原案通り全員賛成で可決しました。

## 選挙管理委員会委員・同補充員が決定



### 報告

○川北町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告並びに承認を求めることについて

新築住宅に係る固定資産税額の減額措置の適用期限延長と、土地に係る負担調整措置の適用期限延長とする改正。

○平成29年度川北町一般会計補正予算の専決処分の報告並びに承認を求めることについて

大雪による農業用ビニールハウスの倒壊被害に伴い、1千250万円の補正予算を専決処分としたことに伴う報告。

○平成29年度川北町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

○川北町土地開発公社の経営状況の報告について

○一般財団法人川北町余暇健康開発公社の経営状況の報告について

### 平成30年度 補正予算

○一般会計  
○補正額 7千750万円  
○予算累計 37億4千750万円

### 条例の改正

○川北町税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴うもので、個人住民税では、給与・公的年金等控除額の引き下げ及び上限の見直しと基礎控除額の引き上げを行うもの。

たばこ税では、紙巻きたばこにかかる税率を平成30年10月1日から、3段階で引き上げる改正と、加熱式たばこの課税方式を10月1日から、段階的に移行する改正。

固定資産税では、中小企業の設備投資を促進するための税制上の措置について、町が策定した導入促進基本計画に基づき、設備投資を行った中小企業に対し、固定資産税額を3年間免除する措置。

○川北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童クラブの支援員の資格要件を拡大する改正で、公布の日から施行。

○川北町障害認定審査会の委員の定数等を定める条例を廃止する条例

これまで町が行っていた障害認定審査会業務を、6月から能美介護認定事務組合で実施することに伴って廃止。

○川北町企業立地に係る工場立地法の特例に関する緑地率を定める条例の一部を改正する条例

三反田地区工場用地を緑地率の緩和適用区域とするための改正。

## 選 挙

### ○川北町選挙管理委員会委員の選挙について



穴田 幸夫氏  
(下田子島)



河村 忠久氏  
(木呂場)



進藤 純郎氏  
(土室)



宮本 法和氏  
(中島)

### ○川北町選挙管理委員会委員補充員の選挙について

江戸 正則氏(草深)

南 宗宏氏(橘)

中西 茂樹氏(与九郎島)

作田 悟氏(三反田)

改修工事に着手

7月議会臨時会

12日



川北保育所

### ○工事請負契約の締結について

事業名称

川北保育所空調設備等改修工事

契約方法 指名競争入札

契約金額 6千696万円

契約相手 白山建設株式会社

# Q&A

## 総務産業常任委員会

**Q** 農産物加工・販売施設整備事業費補助金について、ビール醸造設備が設置される場所は。  
**A** 橋新交差点のわくわく手づくりファーム川北の地ビール醸造工場に設置されます。

**Q** 既存の工場についても、工場用地の緑地率15%適用の対象となるのか。  
**A** 適用区域の中であれば、対象となります。

**Q** 適用区域内の既存工場が緑地率を変更する際に必要な手続きについては。  
**A** 事業者から町に、緑地率の変更を届出ただけが必要がありません。

**Q** 農業施設等雪害緊急復旧対策事業費補助金について、補助率や交付予定件数などの内容は。  
**A** 補助金の応募は、18件ありました。

最終的な農家の負担は、復旧事業費の約4割程度となる予定で、申請者である農家においては、農業共済などの任意保険の加入が前提となります。

**Q** 中小企業の設備投資を促進するための税制上の措置については。

**A** 生産性向上特別措置法が、6月6日に施行されたことに伴い、町では、その実施に際して企業の固定資産税額の税率をゼロとし、3年間免除するものです。  
 因みに現在、1件が申請される見込みとなっています。

**Q** 川北町税条例の一部を改正する条例については。

**A** 給与所得控除額などが下がり、基礎控除額が上がるというもので、給与収入と年金収入など複数の収入がある場合には、結果的に総所得額が上昇し、税額に影響する場合があります。

## 教育民生常任委員会

**Q** 能美介護認定事務組合が障害認定審査会を引継ぐことになるようだが、もともとの川北町障害認定審査会の構成は。

**A** 川北温泉クリニックの院長が審査委員長となり、あとの3名については、作業療法士、社会福祉士、理学療法士の各協会から推薦を受けた方を、審査員として依頼していました。

**Q** 審査委員は、資格が必要なのか。  
**A** 各々の資格を持ち、精神、知的、身体、難病などに精通している方々です。

**Q** 川北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例については。

**A** 放課後児童支援員の資格要件が拡大したことによるもので、高校卒業資格などがなくても補助員として5年以上の実務経験を積めば、石川県が行う研修を修了し、支援員の資格が取得できるようになります。

現在の有資格者(支援員)数は7名で、東部地区児童館に3名、町児童館に1名、西部地区児童館に3名が配置されています。

**Q** 各施設の放課後児童クラブの現在の登録者数は。

**A** 東部地区児童館で30名ほど、町児童館では、60名ほど、西部地区児童館では、40名ほどとなっています。

## 移住定住促進対策は

総務課長 支援とホームページの充実を

A 総務課長

これまで町では、若い人の町外への転出を防ぐため、町営住宅や保育所・児童館の整備など、子育て環境の充実を図り、更には、保育料や水道・下水道料金など公共料金の低廉化にも努めてきました。

現在、町では住宅用地が少ないため、今後は、集落内の空き家、空き地の有効活用や、集落周辺の農地の宅地化など、受け皿づくりに対し、町として支援を行うとともに、併せてホームページなどを充実させることで、住みやすさが実感できる快適な町づくりをPRしながら、若者の移住・定住促進を進めます。



西田時雄 議員

Q 町の簡易水道事業は、一部の新興住宅地を除き、今から約50年前に着手され、ポンプなどの給配水施設は、老朽化に伴い補助金を活用し順次更新されています。

しかし、給水管路においては、事業当初からのものが多く、老朽化も進み、至る所で漏水が発生しています。

町民の安心安全の為に、旧水道管の取り換え工事や、受益者負担の観点では、今後料金設定の見直しなど必要不可欠と考えますが、町当局の考えは。

A 町長

管路の老朽化対策は喫緊の課題であると考えています。

そのため、本年度、簡易水道会計予算に、今後の町全体の簡易水道の諸課題を調査、計画策定するための、経営戦略策定支援業務費150万円を計上した所です。

簡易水道の給水管路老朽化対策は、町にとって大事業になります。

今後は、中長期的な投資的経費を算定したうえで、補助事業に相当する地区の負担金割合や、町全体の水道料金の見直しなど、町民の皆様の理解を得なければならぬことが沢山ありますので、議会と相談しながら、具体化したい。

Q 全国的に少子高齢化が進み、都心部を除く地方に於いては、人口減少に歯止めがかからず、若年層が年々減少しているのが現状です。

新成人者のアンケートでは「将来、川北町に住みたいですか」の問いに対し「交通の便が悪い」「生活が不便」などの理由から、約45%が住みたくない」と回答しています。

そこで、町として子育て支援事業や福祉施策など、他の自治体にはない取組を町内外に紹介する広報啓発活動も必要かと考えます。

現在、町では若者に対して移住定住促進について、対策を講じているのか、或いは今後対策を講じるつもりなのか。町当局の考えは。

## 管路の老朽化対策は

町長 現在、諸課題を調査中

# 児童・生徒を見守る仕組みは

## 教育長 地域ぐるみの協力を



田中秀夫 議員

Q 最近の事件の大半が、下校中や下校後に発生し、また子供たちの下校時間がバラバラでもあることから、見守り隊の皆さんも、下校時の見守りは難しいのが現状です。

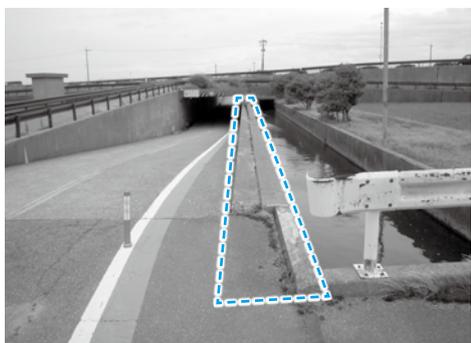
今年度計画されている40箇所の防犯カメラの設置を急ぐと共に、各地区に呼び掛けて見守り隊だけではなく、時間の余裕がある方などにより、児童・生徒の下校時を地域ぐるみで見守る仕組みを強化できないものか。

又、通学路横の用水には、フェンスなどの安全施設のない所もあり、安全施設の見直しも併せてお願いしたい。

### A 教育長

今後、見守り隊や各地区のPTAに下校時間をお知らせし、子ども達の下校時間帯に、できるだけ地区内を散歩に出かける機会をつくっていただくなど、地域ぐるみで子ども達の安全を守るよう、ご協力をお願いしたい。

また、警察の方に随時、パトロールをお願いすると共に、自分の身体は自分で守るということで、不審者対応についてのロールプレイで、訓練を実施したい。



朝日地区の通学路

また、防犯カメラの設置を予算計上しており、できる限り早急に設置し、不審者への犯罪抑止力として活用できるように考えています。

通学路の安全施設の見直しについては、今年度も点検を予定しており、道路フェンスの設置も含め、早急に関係部署と連携し対応したい。

## 町民への周知は

### 町長 冊子の作成を検討中

#### Q 新築住宅取得奨励金制度

や出産育児一時金制度を拡充した、出産祝金制度、短期人間ドック事業など町民の生活に密着した各種施策を数多く実施しています。

町では、広報やホームページなどを活用し、各施策の周知に努めています。各担当課を横断した一覧表やパンフレットなど、町全体の施策が一目でわかるものにより周知を図ることが、より効果的ではないか。

#### A 町長

各種施策の周知については、実際にうまく伝わっているのが、気がかりな所でもあり、町民への周知の一環として、町の施策や地域住民の生活に密着した行政情報を分かりやすくまとめた、いわゆる「暮らしの便利帳」のような冊子を作成し、全戸配布を現在、検討している所です。

# 施設用地の一体化は

土木課長 将来的には一体化した整備を



苗代実 議員

□ 本年度の予算には、産直物産館駐車場改修工事設計委託料として300万円、そして産直物産館駐車場改修工事として1千800万円が計上されています。

工事内容は、隣接するイベント広場と産直物産館との通路が1箇所増設されると伺っています。

ここで、産直物産館駐車場に面する垣根を取払い、両施設の用地を一体化してどうかと思いますが、町当局の考えは。

## A 土木課長

現在、川北温泉駐車場と物産館の間は、高さ約3mの垣根で仕切られ、往來出来る通路が1箇所のため、施設間の行き来がしにくい状況です。

また、垣根付近には、公共施設への既設給水管路が埋設されており、一体的に整備する事は難しい状況です。

そこで、この境界の垣根、植え込みを撤去し、駐車場間の見通しを良くし、更に、もう1箇所往來できる歩行者専用通路の設置や、物産館側の駐車スペースを拡張し、団体客にも対応できる、大型バス駐車場も考えています。

将来的には、緑地部分を含め、施設間の境界を全て撤去した上で、一体化した駐車場整備を行いたい。

# 地域農家の意見の反映は

## 町長 農業委員を窓口として

□ 川北町は農業が主幹産業であり、これまでに多くの補助事業を行い、農業収益の向上が図られてきました。

しかし、これからは農業人口の減少に伴う耕作放棄地の増加など、問題も増えてくると思われます。

については、今年度の予算に農業振興地域整備計画策定委託料として、300万円が予算計上されています。

この整備計画に、地域や農家からの意見なども是非、反映させていただきたいと思いますが、町の考えは。

## A 町長

この計画は、農業振興地域の整備に関する法律に基づいて、概ね10年先を展望した農業・農村の健全な発展と振興、そして農地の有効利用と保全を図ることを目的とする計画です。

平成20年度に策定した、現計画から10年が経過し、見直しを図るものです。

今回の見直しは、優良農地の保全と農用地利用計画が柱となるもので、農振除外が主な目的の計画ではありません。

それでも、地元の意向が反映出来るよう、農業委員の方を窓口として、地域の皆様の意向を伺いながら、計画策定に努めたいと考えています。

# 視察 住民参加型の地方創生の取組みを視察

教育民生常任委員会

7月4日(水)、教育民生常任委員会は、日本で面積が一番小さな自治体である富山県中新川郡舟橋村で行政視察研修を実施しました。

富山市に隣接し富山駅から電車で12分、車で20分以内に位置する田園地帯で、村には常願寺川が流れ、遠方には立山連峰が望める素晴らしい景観の中のコンパクトな村でした。

さて、今回の視察目的は、富山市内の多目的運動公園の視察と舟橋村の子育て施策や図書館の駅舎併



城東ふれあい公園

設に伴う相乗効果についてであり、子育て支援センター「ぶらんこ」では、行政が直営でありながらも極力干渉せず、利用者の声をどんどん取り入れ、そして利用者自体を巻き込むことで、お客さんとしてではなく、自らも関わりを楽しむ事で、利用者が次の利用者呼び込むことにつながっているとの事でした。

また、図書館では、靴を脱いで入るといった家庭的な雰囲気がある

り、図書館でありながら、色々なイベントや情報を発信し、赤ちゃんなからお年寄りまで、多くの地域



駅舎に併設された図書館



役場にて

住民が集まる、居心地日本一を目指している図書館でした。駅舎に隣接している事から利便性もよく、ぶらんこ・図書館共に、近隣市町からの利用者が多いとの事でした。

この様に行政の発想の転換による取組みの相乗効果により、平成に入ってから人口が倍増し、現在は約3千人で推移しています。

舟橋村では、「コミュニティ」を核として、行政が住民や企業にアイデアを提案し、サポートを継続しなければ、どれだけ立派な施設を整備しても、一過性のものとなってしまう、人は集まらない。という事でした。

今回の視察研修を再検証しながら、今後の川北町の地方創生の取組みに、繋がりたいと思います。

教育民生常任委員長 西田 時雄

# 視 察

## ↳ 議会活動先進地を視察

議会運営委員会・議会改革推進委員会



7月10日(火)、議会運営委員会と議会改革推進委員会の合同で、「分かりやすい議会」「開かれた議会」「信頼される議会」を目指し、長野県軽井沢町議会を視察研修を行いました。

ここ軽井沢町は、古くから避暑地として有名な地でしたが、近年では、巨大なアウトレットモールなどの商業施設が建ち並び、人口2万人の町へ、年間840万人もの観光客が押し寄せる町へと変貌しています。

そんな中、軽井沢町議会では、議会の主体性、機動力を高めようとする機運も高まり、通年議会の

導入や、一般質問のやり方を対面方式としたり、議会独自のホームページを作成するなど、その情報を広く公開しています。

また、「議会と町づくりを語る会」と題して、議会報告会を年6回開催し、また、平成23年3月には議会基本条例を制定しています。

当議会でも、昨年ようやく議会改革推進委員会を立ち上げ、今年6月議会定例会より、一般質問の形式を、一問ずつ答弁を求める分割質



問答弁方式と従来からの一括質問答弁方式との選択制を導入しました。また、6月に町商工会青年部員、7月には、町PTA連合会役員との語り合う場を設け、各界の思いを聞かせていただき、今後、これらを参考にしながら、町政に反映できるように、取り組んでいきます。

### ↳ 商工会青年部と懇談

総務産業常任委員会

日時 6月26日(火) 19:00～  
場所 サンアリーナ川北会議室



たいと思っています。今後も議会活動先進地に学び、町民により開かれた議会を目指したいとの強い思いを胸に、軽井沢町議会より、大いに刺激を受けて帰途につきました。

### ↳ 町PTA連合会と意見交換

教育民生常任委員会

日時 7月16日(月) 19:30～  
場所 文化センター研修室



# みんなの広場

## 川原さん ご家族 (橘)

川原 正悟さん・美香さん  
はつき 初葵さん(8歳)・さつき 颯葵さん(8歳)・  
あやか 彩楓さん(2歳)



Q 以前のお住まいは？

A 金沢市です。

Q 町に住まいしての感想は？

A 行事が沢山あり、色々な人と知り合えて楽しいです。

Q 町への要望などは？

A 室内のアスレチック施設があればいいなと思います。

取材者：井波秀俊

## 奈良崎さん ご家族 (壱ツ屋)

奈良崎 克美さん・恭子さん  
ちひろ 千尋さん(17歳)・ひなた 日陽さん(10歳)・  
えいと 英仁さん(8歳)



Q 以前のお住まいは？

A サンハイム川北です。

Q 町に住まいしての感想は？

A 皆さんが優しく、親切だと思います。

Q 町への要望などは？

A コミュニティバスがあれば便利だと思います。

取材者：山村秀俊

お問い合わせは、川北町議会事務局まで

☎076(277)1111



山村 秀俊 記

「1年となるように頑張ります。」

最後に、「よく聞き、よく学びながら、高く思う。」

町議会議員となつて、任期4年の最終年を迎えました。

## 編集後記

議会を傍聴しましょう◆ 次回の定例会は9月です。お気軽にお越しください。